

平成27年4月

社会福祉法人梨雲福祉会
特別養護老人ホーム梨雲苑



撮影場所／梨雲苑ゆうゆうデイサービスセンター

ごあいさつ 理事長 林 一枝



この文章を書いている現在は、富山県民が心待ちにしていた北陸新幹線の開通が間近となり、毎日本当に賑やかだ。私が、世間の人たちよりも心が弾まないのは、関東よりも関西に行くことが多く、関西への足だつたサンダーバードが富山発でなくなつたら、というだけではなく、私たち介護業界、特に社会福祉法人をとりまく環境が大きく変化していく不安をひしひしと感じているからである。

今回二〇一五年度介護報酬改定では、団塊の世代が七十五歳を超えてくる二〇二五年に向けて、効率的なサービス提供体制の構築と介護人材確保の推進、認知症高齢者や中重度要介護者への対応の更なる強化を柱として進められている。私たちの梨雲福祉会は、前理事長が自分の資産をもとに当初五十床の特養から始まった。その後現在まで時代のニーズに合わせるよう少しずつ施設は拡大してきており、それに伴い職員も今や約二〇〇人と大所帯になつてきた。前理事長は、このような施設は儲からなくていいんだ、と常々言つておらず、私の頭の中にもその言葉がしみこんでいる。まずは地域への貢献、次には職員への還元が基本の柱と思っていて。今後、地域や自宅で高齢の方々の生活をお守りしていく方向性は決して誤りではないが、すべての人が在宅で暮らし続けることは現在の実情としては限界がある。在宅限界を感じたときに、その不安感を解消するために特養へ入居待ちの順番に並ぶ、という現状もあるのではないかと思われる。特養の基本は自宅と変わりのないその人らしい生活を支えることであり、その根底を支えているのは職員たちの並々ならぬ努力である。私は政治家ではないからわからないことが多いが、今回の改定は介護の現状の進む方向としては間違っていないと思うが、どこか付け焼刃の感があり、いつかそのしづ寄せが来るのではないかと不安感が否めない。

社会福祉の基本は、自助、互助、共助、公助とそれらの協働である。ここが始まりであることは当然だが、常に自分が、自分の家族が受けたい介護、サービスを提供できる施設でありたいと願っている。利用者様が、ご家族様が抱える不安を安心に変えていくよう、基本に戻つてサービスの在り方を見直していきたい。今年で理事長就任し六年目。やる気が空回りしそうになつたら、新幹線に乗つて息抜きしてこよかな、と秘かに企んでいる。

特別養護老人ホーム 梨雲苑



梨雲苑では、入居者一人ひとりが安心してこれまでの生活を継続できるよう「ユニットケア」を行っています。梨雲苑を居心地の良い「生活の場」と思っていただけるよう、個人の心身の状況、生活習慣などを把握して生かしています。

また、「ADL」向上させ、入居者の生活の幅が広がるよう「自立支援」を行っています。私達は可能な限り、自立した暮らしを送ることを支援し、二十四時間サポートしています。

また、「ADL」向上させ、入居者の生活の幅

が広がるよう「自立支援」を行っています。私

達は可能な限り、自立した暮らしを送ることを

支援し、二十四時間サポートしています。

また、御家族様や他職種と連携を取り、個々の生活ペースを把握出来るよう、努めています。



なのはなユニット

個性、尊厳を大切に、生き生きと暮らせるような支援を目指しています。暮らしの中でその方らしさを大切に関わっていきます。

私たちの生きがいと実りある人生のため、明るい職場の実現に努めています。

さくらユニット

お一人おひとりの落ち着ける空間、生活リズムを把握し、統一した、きめ細やかな個別ケアを提供できる様、日々努めています。

入居者様、家族様と、馴染みの関係を築ける様、お一人おひとりの想いにしつかりと耳を傾けます。

あやめユニット

毎日楽しみを持つて生活ができるよう

に、行事やレクリエー

ションを提供し、ゆつ

たりと穏やかで心安

らぐ生活空間作りを

目指しています。

また、御家族様や他

職種と連携を取り、

個々の生活ペースを

把握出来るよう、努め

ています。

やまぶきユニット

個々の生活を大切にし、その人らしい毎日の暮らしを支援します。

また、居心地の良い環境作りと、入居者様、御家族様、職員が互いに信頼し合える関係作りに努めています。

さざんかユニット

「日々、我が人生」をモットーにその人らしい暮らしを送れるよう、その日その時の想いに寄り添います。

入居者、御家族、職員みんながくつろぎ、笑顔あふれる暮らしの場を作ります。

すみれユニット

家庭的で居心地の良い生活のお手伝いをします。

また、密な関わりを持ちながら顔なじみの関係を築き、笑顔の多い生活を送つていただけるようサポートします。



梨雲苑 デイサービスセンター

保育所
交流会花見
ドライブ

あわら

趣味の
作品

梨雲苑デイサービスセンターは、御利用者様が一日を充実して過ごしていただけるように、様々な取り組みを行っています。

認知症型の方に対しては、研修を受け専門的な知識を持つ職員を中心に、個別での認知症ケアを念頭においていた「その人らしさ」を高める介護を行っています。

その人に合わせたより良い介護をするために、お一人ひとりに対する理解を深めていけるよう、時には親密に、時には真摯な対応で関わるよう努めています。

また、個別機能訓練や運動器機能向上訓練を、理学療法士や看護師、介護職員が全員で取り組んでいます。これから時代に合わせた、御利用者様の自立支援を目的とした機能訓練を行えるように、知識や技術向上を図っています。

皆様が「今日も一日楽しく過ごせた」と思つていただけるよう、職員一丸となつてケアをさせていただきます。

春になるとヘルパー交代の時期がやってきます。初めて交代の時期を迎える利用者様は、せつかく慣れてきたところなのに…と不安いっぱいになられます。また長くご利用いただいている方々は、「今度はどんなヘルパーさんかしら?」と期待しながら待つていてくださいます。

交代することには良い点や悪い点もあるのですが、仕事に慣れが生じないよう、また派遣に支障が出ないようにどのヘルパーでも対応できるようにと考えております。人生の大先輩であるご利用者様にたくさんのことを教えていただきながら、四季の移り変わりとともにあつという間に年が過ぎていきます。

「今日の晩ご飯は何にいたしましたか?」「そうだねえ。筍もらったから昆布と味噌煮にしてもらおうか。」一緒に台所に立つて、味付けを教えていただいたり、また私たちが作る日先の変わった料理を喜んでいただしたりすることもあります。今年度も皆様と過ごすひとときを大切に笑顔いっぱいで訪問いたします。

梨雲苑 ヘルパーセンター



呉羽地域包括支援センター

笑顔で迎えたい五年後

元気な高齢者というと「活動的で街でよく見かける人」をイメージします。私たちが進める介護予防事業は、心身機能を維持し活動への参加を促す。その実現に向けて介護予防教室を実施しています。

おもに運動が中心で週一回、三ヵ月間の教室ですが、参加を楽しみ、仲間ができると好評を得ています。

北陸新幹線が開業を迎えるました。参加者の中から「自分が元気でこの日を迎えることができる」との言葉を聞き同感しました。

ケアプラン作成にあたり、ケアマネジャーは本人や家族に六ヶ月後、一年後の「自分がどうなつていいか」を聞きます。そのためには今、何をするかと一緒に考えるためです。

加齢により病気や怪我のリスクは高まり、同時に体力や気力が低下します。転倒の不安から外出を控え、具合が悪くても医者に行くのが面倒になるなど、今やるべきことを先に延ばしている：心当たりはないですか？

そんな思いが分かる同年代や隣近所は強力な味方ではないでしょうか。

地域包括ケアシステムでは、一人ひとりが抱える問題を地域の課題として捉え、みんなと一緒に取り組もうとするものです。高齢者

が「支援の対象」ではなく「支援者」として活動に参加する地域社会を目指しています。呉羽地域包括支援センターでは、長寿会をはじめ地域の団体の皆さんと、今やるべきことを一緒に考えてていきます。

新幹線の次は、自分でなく家族や隣近所の皆さんと、五年後の東京オリンピックも元気に迎えたいですね。

新幹線の次は、自分でなく家族や隣近所の皆さんと、五年後の東京オリンピックも元気に迎えたいですね。

梨雲苑居宅介護支援事業所では、男性ケアマネジャー二名、女性ケアマネジャー六名で業務にあたっています。

要介護認定を受けられた高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けていけるよう、相談や介護保険サービスの紹介、調整などを行っています。日頃から、本人、家族の思いを受け止めながら自立に向けた支援に繋げていけるように心がけています。近年、医療が必要な高齢者が、在宅での生活を希望されることも多くなっています。その中で、介護支援に加え、医療面での知識向上に努めています。

「ケアマネジャー」

に相談して良かつたわ」「話を聞いてもらつてすつきりしたからまたがんばるぢゃ」と言つてもらえるよう、本人、家族に寄り添った支援に努めていきたいと思います。

梨雲苑 指定居宅介護支援事業所

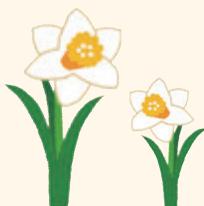


特別養護
老人ホーム

梨雲苑ゆうゆう

梨雲苑ゆうゆうホームは開設して
一年経ちました。四十名の入居の皆様方は新しいユ
ニットにも慣れ、少しずつ自分の生
活を楽しんでおられます。

こすもすユニット



すいせんユニット

入居者様の歩行訓練
練や一日の水分量
アップなど科学的介
護への取り組みに力
を入れています。入居者同士、家族
ぐるみで交流があり、
互いに気にかけ、賑
やかで家庭的な雰囲
気があります。今年は、より一層
快適で安心した生活
が送れるよう、一人
ひとりの生活を大切
にし、入居者様に寄
り添い、家族様とは
密な情報交換を行い、
思いを形にしていき
ます。

なでしこユニット

笑顔あり、親しみあ
り、ゆったりとした空
間の中で一人ひとりに
間を配り、個々に適し
た支援を行います。
また、家族様との関
係を密にし、入居者様
が安心・安全な生活を
送っていただけるユ
ニットを目指します。

あじさいユニット

入居者様一人ひとり
の豊かな暮らしをチ
ムで支え、「繋がる」ケ
アを目指します。家族
様との情報交換を密に
行い、落ち着きのある
空間を提供します。ゆうゆうホームの職員は四月に新しい仲間が加
わり、皆様との生活にも慣れ、楽しく支援させてい
ただいています。皆様のライフスタイルを尊重し、
生きがいを感じて暮らしていただくために趣味活
動に力を入れていきます。生け花、書道、リハビリ
体操など毎日の生活に笑顔が溢れています。

梨雲苑
ゆうゆう

ショートステイ



人との出会い、つながりを感じ、利用者様と職員が一つの家族のような関係、感謝や笑顔があふれるユニット作りをしています。日々と一緒に楽しみ、一人ひとりに合った笑いの絶えない生き生きとした時間を過ごしていくことがあります。



はなみずきユニット

ご利用者様同士、職員と馴染みの関係があり和やかな雰囲気があります。梶子の花言葉「幸せを運ぶ」のように、利用者様、家族様が安心して笑顔で生活していくいただけるよう支援しています。

今後も「楽しみ」や「安心感」のあるサービス、「笑顔」と「元気」が満ち溢れてくる関わりを大事にし、活力と活気のあるショートステイを目指して参ります。



くちなじユニット

「また顔見せて下さい。」「ありがとうございます。また来ますね。」そんな言葉が日々聞こえてくる安心して楽しく過ごすべての利用者様に、また、ゆうゆうショートを利用したいなと思える温かな充実した時間为您提供できるよう一人ひとりのおもいに寄り添い支援します。



ひいらぎユニット



また来たい、来てよかったです、そんな言葉が聞けるよう毎日の生活におやつ作りや体操、散歩を行っています。

家族様や利用者様に信頼されるユニットを目指しています。

かえでユニット

「また顔見せて下さい。」「ありがとうございます。また来ますね。」

そんな言葉が日々聞こえてくる安心して楽しく過ごせるユニットであるよう心がけています。

すべての利用者様に、また、ゆうゆうショートを利用したいなと思える温かな充実した時間为您提供できるよう一人ひとりのおもいに寄り添い支援します。

梨雲苑ゆうゆう
の中にある託児所
「ゆうゆうガーデン」は

二年目を迎え、現在六名のお子様がご利用されています。
毎日お子様の笑顔や元気に包まれて楽しく過ごしています。
これからも安全に気をつけて、お母さんに安心して仕事に集中してもらえるよう保育していきたいと思います。



ゆうゆうガーデン

ゆうゆう

ガーデン

梨雲苑
ゆうゆう

デイサービス



おわら
演舞



アンケート結果を参考に四月からも皆様に「ゆうゆうデイを利用して良かった」と言つてもらえるような事業所を目指します。
(アンケートをまとめたものは、ゆうゆう内に掲示しています。ご利用時、またはお立ち寄りの際にご覧下さい。)



ゆうゆうの朝はデイサービスやショートステイの利用者様との元気な挨拶から始まります。

皆様が笑顔でゆうゆうへ来て下さることが私達ケアマネジャーの元気の素です。昨年1月の開設以来「ゆうゆう居宅支援事業所」を知つて頂く事から始まり、在宅生活の継続や入院先からの在宅復帰等、お一人おひとりの希望をお聞きしながら丁寧な対応を心がけてきました。ゆうゆうは二年目の春を迎えますが、今後も身近な相談窓口として地域の皆様から頼つて頂ける事業所でありたいと考えています。

土日、祝日も対応可能ですが是非お気軽にご来苑ご相談下さい。

ゆうゆうの朝はデイサービスやショートステイの利用者様との元気な挨拶から始まります。

皆様が笑顔でゆうゆうへ来て下さることが私達ケアマネジャーの元気の素です。昨年1月の開設以来「ゆうゆう居宅支援事業所」を知つて頂く事から始まり、在宅生活の継続や入院先からの在宅復帰等、お一人おひとりの希望をお聞きしながら丁寧な対応を心がけてきました。ゆうゆうは二年目の春を迎えますが、今後も身近な相談窓口として地域の皆様から頼つて頂ける事業所でありたいと考えています。

土日、祝日も対応可能ですが是非お気軽にご来苑ご相談下さい。

**梨雲苑ゆうゆう
指定居宅介護
支援事業所**

でいさーびす さいさい



でいさーびす さいさいが、金屋に出来てから、今年で十二年を迎えます。これまで大家さんや地域の方々に支えて頂きながら、小規模デイサービスとして、利用者様一人ひとりの個性を尊重した対応を心掛け、日々楽しい「さいさい」を目指してまいりました。

広くなりました!



昨年、内装のリフォームを行い、リビングが広がり、今まで以上にゆったりと過ごせるようになります。さいさいの隣には、広いお客様専用の駐車場もございます。

まずは、お茶飲みがてら、ご家庭の介護に対する悩みなどお気軽に相談しにお越し下さい。

また、皆様の今後のご参考に役立てて頂ける様な企画も実施していくたいと考えております。是非ご参加下さい。職員一同お待ちしております。



「ご自宅のお風呂になかなか入りにくくなつた」「玄関に手すりをつけて欲しい」等のご要望から、「最近もの忘れが見られるようになつてきたけど、どうしたらいいかね」など何でもご相談下さい。私たちは皆様の「こんな生活をしたい気持ちに寄り添いながら、一緒に考えていきます。また、頼りになる存在になれるよう努力していきたいと思ってます。昨年併設のデイサービスも内装リフォームも行い、相談できる雰囲気になつていますので、お気軽にお茶を飲みにくる感じでさいさいにお寄りください。お待ちしています。

さいさい 居宅介護支援事業所

さいさい居宅介護支援事業所では、一一名のケアマネジャーで業務を行っています。

地域の皆様が住み慣れた地域で少しでも長く過ごすことができるようお手伝いをしていきたい

と思っております。

社會貢獻活動



当法人では四年前よりカラオケ機器の無償貸出しサービスを行っています。デイサービス利用者さんの為に購入したカラオケ機器でしたが稼動していない時もあり、空いている時、地域に貸出しする事にしました。法人で受託している地域包括支援センターが窓口になり長寿会をはじめ、自治会や地域の納涼祭等に貸出し、機械の搬送設置も使用していくない時間帯の車椅子送迎車両で職員が対応しています。今では好評をいただき年間一二〇回の貸出しをするに至りました。先日は貸出団体対抗のカラオケ大会も開催させていただきました。貸出しを通じて職員も地域の皆さんのお顔を知る事ができ、また地域の皆さんも気軽にお声掛けをいただき本業



防に力を入れていい地域との窓口が広りパークゴルフ大
会、清掃活
行にも数多く参
だく事ができまし
別養護老人ホーム
する事ができ本業
に関しても地域福
祉に貢献する事が
できました。その
際には事業所内託
児施設を併設した
ことから子育てに
関する文化講演会
や介護体験をもと
に製作された映画
の試写会を開催し
て沢山の皆さんに
お集りいただきました。

である高齢者支援の面でも地域連携がとれて良い方向に向かっています。当初、カラオケ機器も一台で対応していましたが現在は二台になり、この春にはもう二台追加して四台体制で取組みます。今後は歌うだけのカラオケ貸出しではなく、そこに職員



パートナーカンパニー紹介



当行では毎年、お取引先の新入社員を対象とした「新入社員公開セミナー」を開催しております。梨雲福祉会の新入職員の方々にも、沢山のご参加をいただいており、社会人として求められる職場でのマナー・エチケット等を習得していただいております。このセミナーは梨雲福祉会と弊行の紐帶強化にも繋がつているものです。その他、当支店では歩道の清掃や地域の美化活動を通して地域貢献をさせていただいております。

今後も皆様のお役に立てる銀行を目指してまいりますので何でもお気軽にご相談ください。

**北陸銀行
電気ビル支店**

パートナーカンパニー紹介

カラオケ機器です。



高齢化社会が進む中で注目を集め
る音楽療法を手軽に実践できる音楽
療養ソフト「コンテンツ[健康王国]」を
搭載しています。歌う・観る・癒す・体
を動かす遊ぶの四つのカタ「ゴリー
から、対象者に合ったコンテンツを
目的ごとに利用することで、心のケ
アやリハビリ、介護予防や健康維持
に活用できます。梨雲福祉会様などで
「JOYSOUND FESTA・健康
王国」を使用しデイサービス様などで
楽しみながらの介護予防を実践されて
います。心より楽しめる健康維持の
ために弊社としても
尽力をさせていただ
きます。

JOYSOUND FESTAは
笑顔・元気・健康をテーマに生まれた
カラオケ機器です。



JOYSOUND FESTA



2台追加導入
いたしました!

◆発行所◆
社会福祉法人梨雲福祉会
特別養護老人ホーム梨雲苑

◆発行人◆
理事長 林 一枝
〒930-0142
富山市吉作1725
TEL(076)436-2002
FAX(076)436-2165
E-mail:riun1725@ybb.ne.jp
URL:<http://www.riunen.com>

東日本大震災の義援金

当法人で入居者様及び利用者様、ご家族様・職員から頂きました義援金を平成26年度分で

社会福祉法人 全国社会福祉協議会宛に 25,880円

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会宛に 25,880円

平成26年広島県大雨災害義援金

社会福祉法人 富山県共同募金会災害義援金宛に 40,108円

送金させていただきました。この活動は現在も継続して

います。今後も皆様のご協力を宜しくお願ひ致します。

この春より五回目の介護
保険制度の改正がある。
今回の制度改正は介護保
険を利用される方の負担増
となり、事業所にとつては
収入減となる。今後は社会
福祉法人の制度改革等で
益々事業を運営する立場と
しては舵取りが難しくなる
事が見込まれる。しかしながら我々社会福祉法人は地
域の皆様の為に尽くすとい
う目標（灯台）があるので
それを見失わず運営してい
きたい。

神
田

編集後記